

# 令和7年度 第4回 昭島市スポーツ施設整備構想検討委員会 議 事 要 旨

〔日 時〕 令和8年1月26日（月） 午後6時00分

〔場 所〕 昭島市役所 3階 庁議室

〔出席者〕

・委員

高橋章副委員長、和田幸子委員、高橋靖和委員、高橋昌之委員

・事務局

永澤政策調整担当部長（企画部）、磯村生涯学習部長、  
女屋行政経営担当課長（企画部）、吉村スポーツ振興課長（生涯学習部）、  
岡村公共施設再編・調整担当係長（企画部行政経営担当）

・傍聴者 1名

〔配布資料〕

- ・【資料1】パブリックコメントの結果について
- ・【資料2】昭島市スポーツ施設整備構想（案）

〔議事要旨〕

## 1 開会

## 2 議題

- （1）パブリックコメントの結果について
- （2）昭島市スポーツ施設整備構想（案）について

事務局より「【資料1】パブリックコメントの結果について」及び「【資料2】昭島市スポーツ施設整備構想（案）」をもとに、一括して説明し、各委員より質疑。

〈質疑応答〉◆は委員、○は事務局の発言要旨

○説明に入る前に報告事項。令和7年10月15日に開催した第3回の委員会から、パブリックコメントを実施するまでの間に素案の一部修正を行った。【資料2】昭島市スポーツ施設整備構想（案）のP3「2 計画の位置づけ」の下部にあるイメージ図の表現を修正している。

◆これまでの委員会を通して、市民目線で見るとスポーツ施設も公園も一緒に見えてしまう。各所管課が管理しているのは分かるが、縦割りではなく、どこかの課が統括してもらえると助かるなという風を感じた。市民からすると運動できる場所がこの思想に沿っていることが望ましいと考えているが、本構想を見ると作る側の立場のことしか記載されていないように感じている。【高橋（靖）委員】

○委員のおっしゃるとおり、市民の方からすればすべては市の施設であって、どこの課が管理しようとする場合には施設全般について統一的な考え方で市としても取り扱って欲しいということは十分に理解するところである。各主管課がどういった意見で今後の施設を運営して

いくのかを統括するのが本構想であると考えており、それをまとめていくのは事務局を担当している公共施設の担当がその点を集約しながら進めていくべきだと考えている。【事務局】

◆本構想では、今ある施設だけを見て構想を策定しているが、総合スポーツセンターは老朽化している中で、「何年後には建替えを目指します。」といった表現が一つであれば、市民は安心できると考える。実際にできるかどうかは別にしても、今の構想の表現からすれば、もう少し夢があるような記載をした方が良いのではないか。【高橋（靖）委員】

○これまでスポーツ施設に対して、前に進めていくような構想は無かった。施設整備にあたっては長期的なスパンで考えていく必要があるため、本構想では具体的な話を書くことができないが、その点は今後、実施計画を立てていくなかで議論しながら、個別の施設計画の中で表現していく。本構想は個別の施設計画を策定していくうえでの柱になるものであると考えており、そういった位置付けとしてまとめていることをご理解いただきたい。【事務局】

◆パブリックコメントでは5人の方から意見をいただいたが、意見をいただいた方への回答はどのように行っているのか。【副委員長】

○委員会に諮ったうえで回答をするため、現時点では意見の回答は行っていない。【事務局】

◆パブリックコメントでは、具体策に踏み込んだ意見もあるようだが、その点についてはどうか。【副委員長】

○本構想では、具体策を記載することはできない。各施設が整備を進めていくには、個別の計画を立てていくが、裏付けがないことには動けない。本構想は次の段階に進めるための足がかりになるものである。スポーツ施設については、市民からの要望も強いと、国のガイドラインを踏まえながら作ってきたのが本構想である。【事務局】

◆市長が屋内プール、ウエストテラスを作ると話しているが、本構想にそういった点が反映されていないように思うのだが、どうなのか。【高橋（靖）委員】

○市長の思いに対し、本構想の中での表現でいうと、旧拝島公園プール跡地が今後スポーツ施設として活用が期待できると示している。来年度以降は、具体的にどういった施設になっていくのかを示していくことになる。市長の思いを動かしていくためにも本構想が必要だと考えている。【事務局】

◆ウエストテラスの中にプールが出来るイメージなのか。【高橋（靖）委員】

○市長が思う構想の中では、夏場でも子どもが利用できる屋内プールが必要というのが1点目、イーストテラスが出来たことにより、昭島市西側にも地域の方々が使える施設が必要であるというのが2点目である。スポーツ施設整備構想とコミュニティ施設の構想をどういう形で整備していくのが今後の課題であると考えており、一つというよりは、そういったものを複合的に考えて整備していくことになる。【事務局】

◆本構想の策定が最終段階に来ていることもあり、改めて全体を見直してみた結果、いくつか指摘・確認したいことがある。

- ①本構想の中で「本計画」と表現されているが、それは本構想のことで認識に間違いはないか。
- ②P4にて他計画も記載しているが、全体の表現をそろえると、計画名は括弧(「」)で囲った方が良いのではないか。
- ③P5の国の人口推計の記載内容に昭島市の表現が無いため、どこの人口推計かが分からない。
- ④P5、6にて人口ビジョンの説明を行っており、P5は国による推計、P6は昭島市による推計となっているが、同じ昭島市の推計であるのに2つ推計を出す意味があるのか。
- ⑤P11にて、「将来の街」と記載あるが、街で良いのか。
- ⑥P10にて、昭島市の財政状況に触れているが、令和4年度から令和7年度にかけて歳入額、歳出額ともに増加しているが、令和8年度だけ大きく下がっているのは何故か。
- ⑦P20にて、「徐々にコロナ禍前の状況に戻りつつあり、」と表現をしているが、現在の状況から「戻った」で良いのではないか。【副委員長】

○いただいた内容については次のとおりである。

- ① 本計画は本構想の意味であり、表現はそのままとする。
- ② 計画目に括弧(「」)が漏れていたため、追記する。
- ③ P5の国の人口推計の図に昭島市を表記する。
- ④ P5の国による推計は、国立社会保障・人口問題研究所が公表したもので、P6の本市の人口推計は本市の総合戦略の人口ビジョンにおける推計であり、2つの推計にはかい離がある。市の計画においては、総合戦略の人口ビジョンを活用するが、本市の状況を捉えると、国の推計を超えてくるような形で横ばいになることが推測されるため、本構想では2つの推計を記載している。
- ⑤ 「将来のまち」の表現が正しい。
- ⑥ 令和4～6年度は決算額、令和7年度は予算額であるが、令和8年度は前期基本計画の推計値を使用しているため、大きく下がっているように見えるがあくまでも推計値である。
- ⑦ 利用状況の実績は令和6年度までしか出せないため、令和6年度の実績で考えると「戻りつつあり」との表現になる。【事務局】

○副委員長よりご指摘いただいた修正箇所については、文章の修正のみであり、内容に影響が出るところではないため、事務局にて修正を行ったうえで、所定の手続きを取らせていただいて問題ないか。【事務局】

◆回答のとおり修正されていれば、問題はない。【副委員長】

3 その他

4 閉会